

第76期 年次報告書

(2022年10月1日～2023年9月30日まで)

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS



浜松ホトニクス株式会社
証券コード：6965

トップメッセージ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第76期（2022年10月1日から2023年9月30日）における事業の概況につきまして、ご報告をさせていただきます。

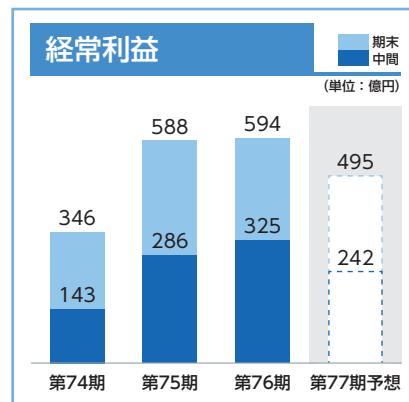
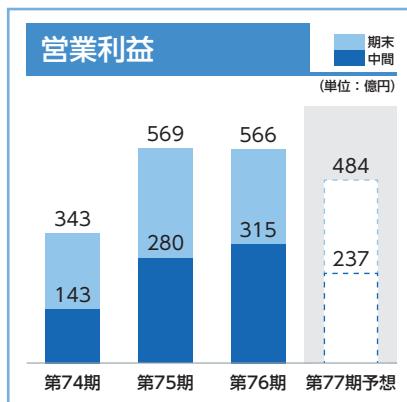
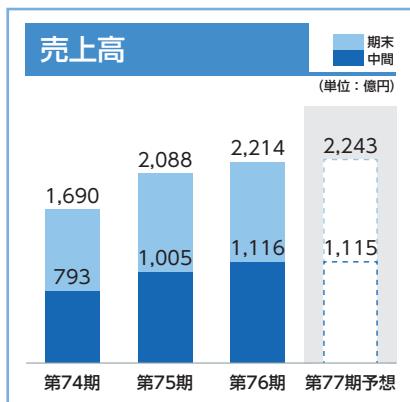
当社グループを取り巻く経営環境につきましては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会環境がコロナ前に戻りつつあるものの、中国をはじめとした海外景気の下振れ懸念や物価上昇等の影響により、景気は厳しくかつ先行き不透明な状況のなかで推移いたしました。

このような経営環境におきまして、当社グループは、財務・非財務の両輪で企業価値を向上させるための変革に取り組むとともに、将来の市場拡大を見据えた設備投資を継続するほか、当社独自の光技術をいかした研究・製品開発を推進することで、前期比増収を維持することができました。

また、当期におきましては、経営体制を刷新するとともに、経営理念を改定して地球規模で深刻化する社会・環境問題に対してより積極的に取り組む姿勢を明確にいたしました。新たな経営理念では、当社グループの根幹にある「光の未知未踏領域を追求する」という普遍的な価値観は継承しつつ、それらを通じて新たな価値を創出し、豊かな社会・環境の実現ひいては人類の健康・幸福に貢献するという当社グループの使命を果たすことでより一層の企業価値向上を目指しております。

そして、この使命を果たすため、取り組むべき重要事項と目標として

連結財務ハイライト



8つのマテリアリティを策定いたしました。①事業を通じた社会・環境への貢献、②事業基盤の強化と企業の社会的責任という2つの観点で、今後各マテリアリティに対してグループ全体で取り組んでまいります（詳細は9頁をご参照ください）。

また、当社グループ全体としての持続的発展に向けて、会社戦略の立案、運営、人事・情報交流の活性化等を目的に、財務・非財務・間接部門をまとめる各統括本部を設置いたしました。そして、事業を通じた社会・環境への貢献を目指し、課題解決に求められる社会や産業のニーズを適切に把握するとともに、事業部間や外部機関との連携の強化を図ります。

当社グループは、事業環境の変化に対応するとともに、将来の企業価値の向上を図るため、経営の土台となる人・モノ・コトへの投資を積極的に行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、これまで以上のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

代表取締役社長

丸野 正

浜松ホトニクスグループの経営理念

Mission

わたしたちの
使命・約束

Photon is our business

科学技術の進歩とより豊かな社会・環境の実現に寄与
人類の健康と幸福に貢献

Vision

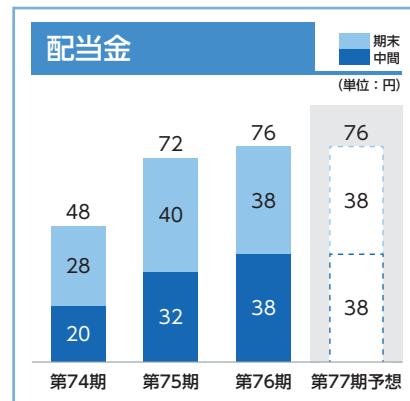
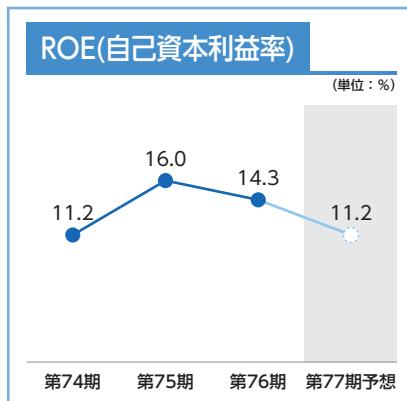
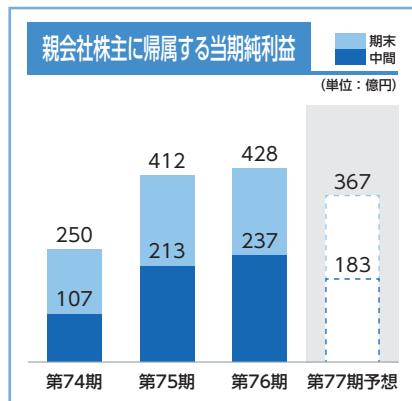
わたしたちの
志

光の未知未踏領域を追求
光技術を用いた新しい産業の創造

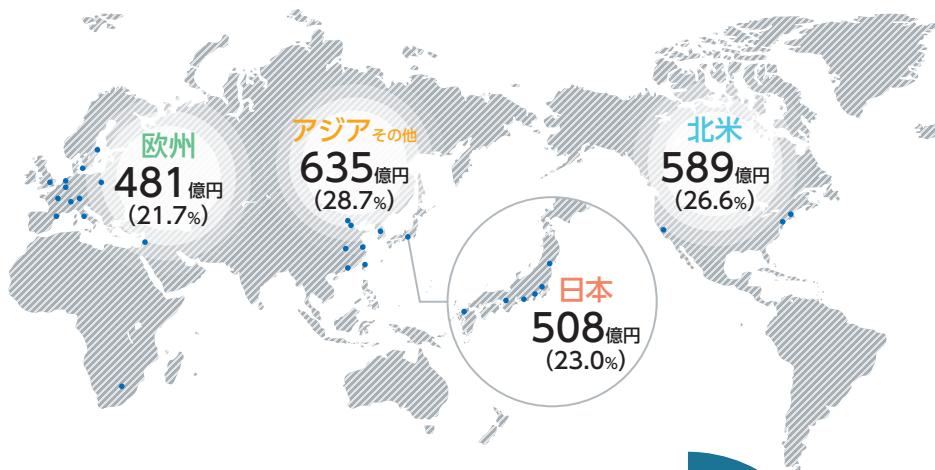
Values

わたしたちの
価値観

挑戦 ～できないと言わずにやってみよう！～



地域別でみる浜松ホトニクス



全世界拠点・地域従業員数

欧州・中東・アフリカ

13拠点 / 298名

[営業拠点] ドイツ・フランス・スウェーデン・イタリア・イギリス など

アジア

7拠点 / 690名

[営業拠点] 中国(北京)・台湾・韓国 など
[生産拠点] 中国(廊坊)

アメリカ

3拠点 / 373名

[営業拠点] ニュージャージー など
[生産拠点] マサチューセッツ

日本

16拠点 / 4,434名

[本社事務所] 本社事務所(浜松市)
[営業拠点] 東京営業所 / 仙台営業所 / 中部営業所(浜松市) / 大阪営業所 / 西日本営業所(福岡市)
[生産拠点] 本社工場 / 新貝工場 / 天王製作所 / 常光製作所 / 都田製作所(いずれも浜松市) / 豊岡製作所 / 三家工場(いずれも磐田市)
[研究拠点] 中央研究所 / 産業開発研究所(いずれも浜松市) / 筑波研究所

売上高(連結)

2,214億円

海外売上高比率

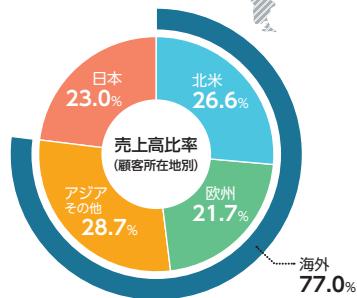
77.0%

全世界拠点数

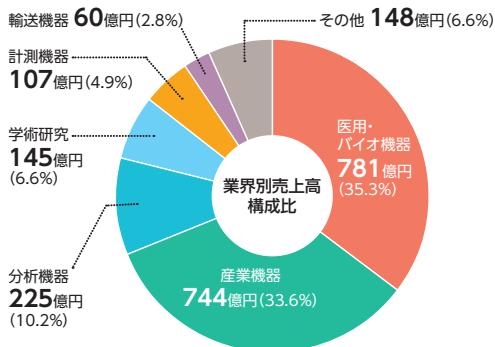
39拠点

連結従業員数

5,795名



業界別でみる浜松ホトニクス



医用・バイオ機器

放射線検査装置 / 検体検査装置など



産業機器

半導体製造装置 / 非破壊検査装置など



分析機器

水質検査 / 環境分析など



学術研究

高エネルギー物理学 / 宇宙物理学など



計測機器

放射線計測 / 距離計測など



輸送機器

LiDAR / 車載ネットワークなど



その他

通信・情報機器 / 光学・写真機器 / 民生機器など

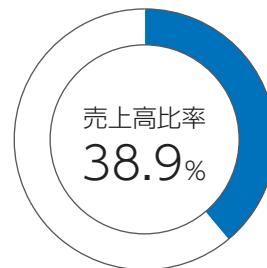
事業の概況

電子管事業



売上高 **862** 億円 (前期比 **6.6** %増)

- 産業分野において、車載用リチウムイオンバッテリーやEV・データセンター等に用いられる電子基板の検査需要の高まりを受けて、非破壊検査用マイクロフォーカスX線源の売上げがアジアを中心に増加
- 医用分野において、血液や生細胞などを分析する検体検査装置向け光電子増倍管の売上げが、国内外での需要の高まりを受けて増加
- シリコンウェハを高速・高品位に切断するステルスダイシングエンジン及び半導体検査装置向けの光電子増倍管や光源は、半導体市場の低迷を受け、売上げが減少

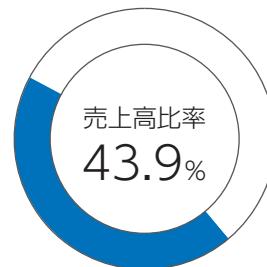


光半導体事業



売上高 **971** 億円 (前期比 **1.7** %増)

- 学術分野において、高エネルギー物理学実験向けのフォトダイオードアレイ等の光半導体センサの売上げが、欧州における新プロジェクトの発足をを受けて増加
- 医用分野において、X線CT向けのシリコンフォトダイオードの売上げが、新型コロナウイルス感染症により需要が伸びた低級機種から高級機種への需要の移行により、上期を中心に増加
- 歯科用診断装置向けのフラットパネルセンサの売上げが、部材調達難の影響を受けたほか、海外における競合メーカーの台頭による価格競争の影響を受け減少



画像計測機器事業



売上高 **317** 億円 (前期比 **18.9** %増)

- 半導体故障解析装置は、市場要求に沿った高い操作性・機能性を評価され、海外を中心に売上げが好調に推移
- デジタルカメラの売上げが、微弱光を広視野・高感度に撮像できることから、生命科学やバイオ分野のほか、量子や天文などの物理分野においても増加
- 非破壊検査用X線カメラが、電子基板検査向けにアジアを中心に売上げが増加



ここにも浜松ホトニクス

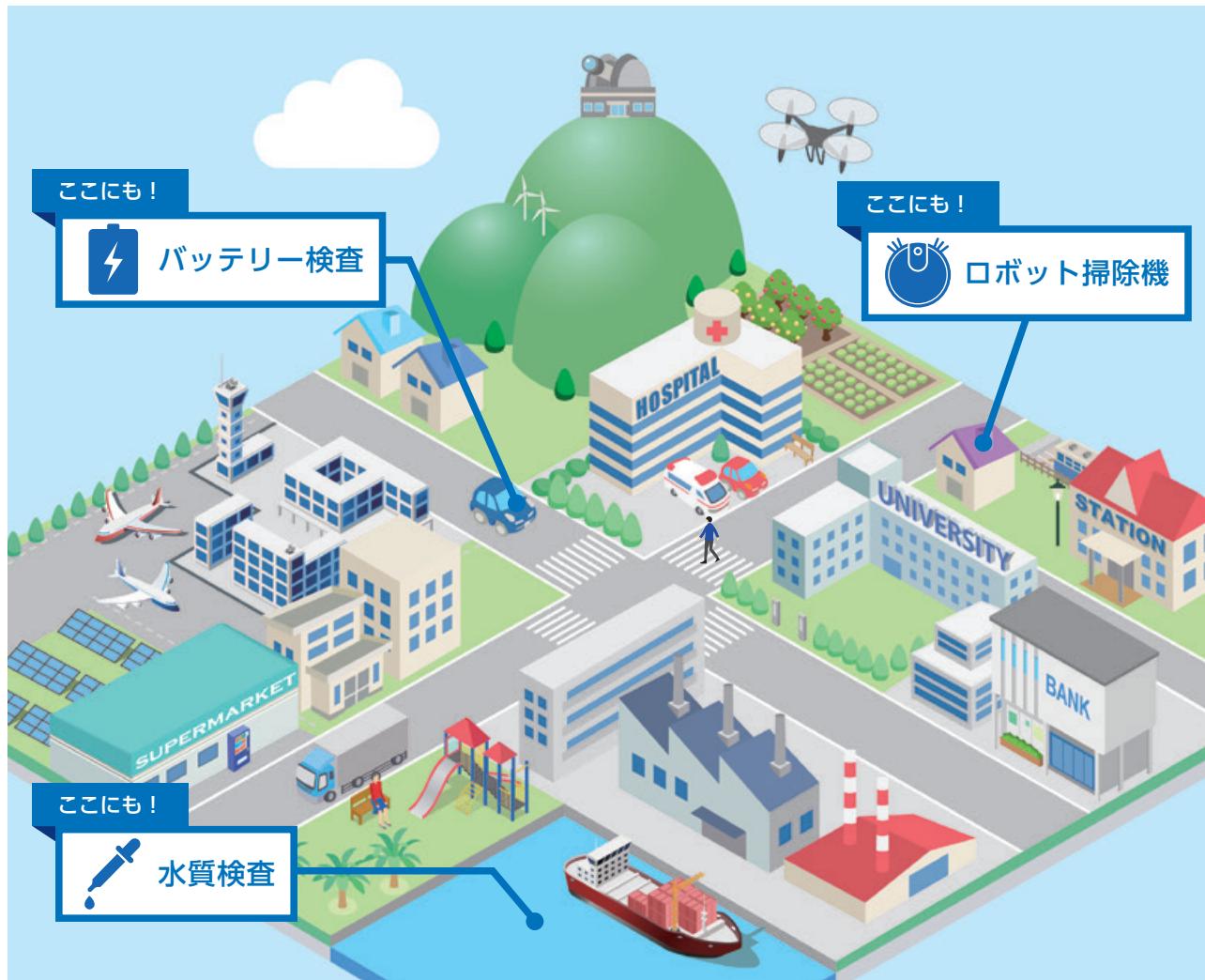
当社の製品は幅広い分野で応用されており、医用やライフサイエンス、産業用機器、民生機器、計測・分析装置、学術研究など、様々な場面で社会を支えています。

ここではその一部をご紹介します。

業界別で見る浜松ホトニクス

その他当社の製品や技術の応用例を動画で分かりやすくご紹介しております。

https://www.hamamatsu.com/sp/hq/virtual_showroom/ir/ja/vr/index.html





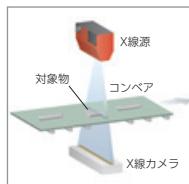
産業

車の安全性を支える

近年、カーボンニュートラル実現に向けた環境への配慮を背景に、ハイブリッド車やEV等のエコカーが急速に普及し、リチウムイオンバッテリーの需要も高まっています。リチウムイオンバッテリーの不良は、発火等につながる恐れがあり車の安全性にも大きく関わるため、製造工程における品質検査が非常に重要となります。この検査手法として、対象物を破壊することなく欠陥を検出するX線非破壊検査が用いられており、当社の**マイクロフォーカスX線源**や**X線カメラ**等が使用されております。

光の波長

X線



▲非破壊検査のイメージ図



▲マイクロフォーカスX線源



▲X線TDIカメラ



民生

家事の負担を減らす

ロボット掃除機は、ボタンを押すだけで掃除を自動で行ってくれることから、家事の負担を減らす家電として注目されております。ロボット掃除機には、家具や壁等の障害物との衝突を避けるために、光を用いた距離計測技術が用いられております。この光源・光センサとして、当社の**LED**や**イメージセンサ**等が使用されております。

光の波長

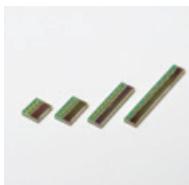
赤外線



▲ロボット掃除機



▲赤外LED



▲リニアイメージセンサ



分析

水質を正確に測定する

河川や海、地下水などの汚染を調べる水質検査には、水に光を照射した際に吸収される光や発生する蛍光の種類を検出することにより、特定の物質の有無・量を測定する方法があります。試料に含まれるごくわずかな物質を見つけ出すには、安定性の高い光源と高感度な検出器が求められます。この光源や検出器として当社の**キセノンフラッシュランプ**や**光電子増倍管**、**分光器**等が使用されており、環境保全や人の健康を支えております。

光の波長

紫外線・赤外線



▲環境分析のイメージ図



▲キセノンフラッシュランプモジュール



▲ミニ分光器

生産体制の強化に向けた設備投資を継続

電子管事業では、豊岡製作所の新棟が完成し、稼働を開始いたしました。今後売上げの増加が見込まれる印刷、殺菌用電子線照射源やその他各種光源の開発及び製造機能を新棟に集約することで、生産能力を増強いたします。また、移転により発生する既存棟の空きスペースを利用し、EV用リチウムイオンバッテリーや電子基板の非破壊検査用途で需要が急拡大しているマイクロフォーカスX線源の生産能力も高めました。

光半導体事業では、今後も医療や産業等の分野において需要の増加が見込まれる光半導体製品の生産能力を拡大するため、本社工場、新貝工場及び都田製作所の新棟建設に着手いたしました。本社工場新棟では、生産スペースを従来の2倍に拡張するとともに、従来よりも面積が大きな8インチのウェハに対応した製造ラインを採用することで、生産効率の向上やコストダウンを図ります。新貝工場新棟では、生産スペースを拡張するとともに、人や物の移動の効率化、製造工程の自動化や省人化を促進して生産体制を強化いたします。また、都田製作所では、今後市場の拡大が期待されており、自動運転等に用いられるLiDAR向け半導体素子の製造エリアを拡張するとともに、事業所内に点在していた製造エリアの集約、作業動線の最適化を行うことで、生産性を向上いたします。

当社は、今後も生産体制を強化することで継続的な成長を目指し、科学技術の進歩と豊かな社会の実現に貢献する製品の開発・製造に取り組んでまいります。



▲豊岡製作所新棟外観



▲本社工場（上）、新貝工場（中）、都田製作所（下）の新棟完成予想図

■バーチャルスライドスキャナ「NanoZoomer®」がFDAの認可を取得

当社は、病理向けバーチャルスライドスキャナNanoZoomer（ナノズーマー）を医療機器として米国で販売する認可をFDA（米国食品医薬品局）より取得いたしました。

NanoZoomerは、体の組織などを載せたガラススライドを高速・大量にスキャンし、高解像度なデジタル画像データに変換するスキャナです。この画像データは専用のソフトを使うことでパソコンのモニター上で顕微鏡を操作する感覚で拡大・縮小して観察することができるため、組織や細胞の研究や、病気の原因を特定する病理診断等に用いられております。また、画像データはネットワーク経由で遠隔地にいる病理医等と共有することも可能であり、病理診断の効率化にも寄与しております。

当社はこれまで米国に対して、NanoZoomerを病理分野の研究用途向けに販売してまいりましたが、この度、米国での病理診断用途に仕様を最適化することで、FDAの認可を取得いたしました。これにより、日本や欧州に加え、世界最大の医療機器市場をもつ米国での病理診断分野にも参入し、市場要求に応じてまいります。また、製品自体についても、AIを画像の自動解析に用いることを進めるなど、病理分野のデジタル化を加速させてまいります。



画像データに変換

画像データを拡大

▲NanoZoomerでスキャンした画像データ



◀FDAの認可を取得した NanoZoomer

■PHOTON FAIR 2023を浜松市にて開催

2023年11月16日（木）から11月18日（土）まで、浜松ホトニクス総合展示会「PHOTON FAIR（フォトンフェア）2023」を開催いたしました。

PHOTON FAIR 2023のメインテーマは、「光で何ができるか」です。「くらし」、「健康」、「脳」、「地球」、「宇宙」及び「量子」の6テーマと、それらを支える当社のコア・テクノロジーという切り口で、創立70周年を迎えた当社の製品や技術力、将来ビジョン、光技術の無限の可能性をご紹介いたしました。

期間中は、お客様に加え、投資家の方や会社を支えてくれる従業員及びその家族、地域住民の方等、国内外の幅広いステークホルダーの皆様にご来場いただき、多くの反響をいただきました。



▲PHOTON FAIR会場の様子

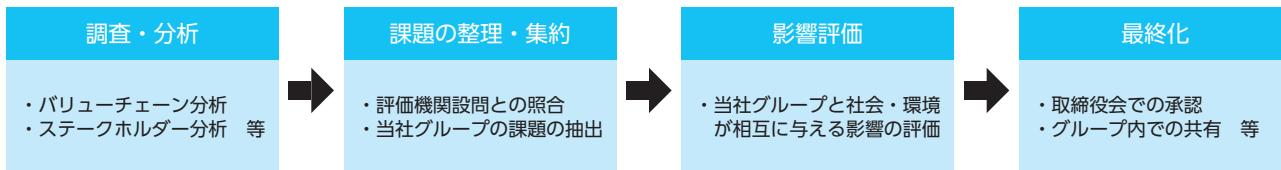
サステナビリティ

当社グループの持続的な成長のため、マテリアリティを特定

当社グループでは、新体制のもと、「社会・環境価値創造型企業」として持続的に成長するためにグループ全体で取り組むべき重要事項と目標としてマテリアリティを特定いたしました。

当社グループのマテリアリティは下図のとおりであり、当社グループ及び社会・環境が相互に与える影響を分析、評価し、特定いたしました。今後も社会とともに成長を続けるべく、グループ内の連携をさらに強化し、これらのマテリアリティに基づいた各プロジェクトを推進することで企業価値を向上させてまいります。

軸	トピックス	マテリアリティ
事業を通じた社会・環境への貢献	製品・技術	高度な光技術を活用した社会・環境価値向上への貢献
	高収益経営	持続的な高収益経営による、安定かつ豊かな経済・社会実現への貢献
	品質	優れた安全性、品質、サービスの提供による、顧客価値向上への貢献
事業基盤の強化 企業の社会的責任	環境	地球と共生可能な事業活動の推進
	人権・労働	幸福度の高い雇用制度と職場づくり
	多様性	グループの成長と社会への貢献を支える人づくり
	企業統治	価値創造の安定と成長を実現するガバナンスとマネージメントの推進
	サプライチェーン	製品の安定供給体制と責任あるサプライチェーンの構築



▲マテリアリティ特定プロセス

サステナビリティ／CSR
<https://www.hamamatsu.com/jp/ja/our-company/sustainability-and-csr.html>



統合報告書
当社の中長期的な価値創造について、非財務面を中心に伝えしております。
<https://www.hamamatsu.com/jp/ja/our-company/sustainability-and-csr/integrated-report.html>



■当社子会社の株式会社浜松ホトアグリの新農場が完成

当社は、誰もが日々の仕事を通じて研鑽し、自分にしかできないことを見つけることができるとの見地から、様々な障がいのある方々の雇用と職能開発に継続的に取り組んでおり、この一環として2017年に浜松ホトアグリを設立いたしました。当社では、積極的に障がい者の雇用を進め、障がい者がスタッフとともに農業分野の研究を推進するとともに、「リッチリーフ®」と呼ばれるベビーリーフの栽培のほか、リッチリーフ及びその加工品の販売を行っております。このような障がい者雇用への取り組みが認められ、同社は2021年12月に特例子会社^[1]の認定を受けております。

この度、当社は、リッチリーフ及びその加工品の需要拡大に応えるとともに、障がい者の活躍をさらに推進するため新農場を設立いたしました。新農場では、ベビーリーフの栽培面積を拡大するとともに、料理に彩りを添えるエディブルフラワーやマイクロリーフの栽培を開始いたしました。

今後も、当社は多様性を尊重し、誰もが能力を発揮できる場を提供し続けることで、持続的な成長及び企業価値の向上を目指してまいります。



▲新農場（左）、リッチリーフとエディブルフラワー（右）

[1] 特例子会社とは、障がい者雇用の促進と安定に特に配慮しており、厚生労働省の定める一定要件を満たしている子会社です。

■社内ベンチャー 浜名湖のアサリ資源回復事業

当社は、持続的な成長のためには光の応用産業の幅を広げていくことが重要だと考えており、その一環として既存事業の枠にとらわれない挑戦を行う社内ベンチャー制度を設けております。ここでは、地域振興・海洋資源の保全に関わる社内ベンチャーの事業を紹介いたします。

静岡県西部にある浜名湖は、かつてアサリ漁が盛んな区域でしたが、近年は環境変化により漁獲量が大きく減り、漁業関係者や地域経済にも影響を与えています。このようななか、当社は光技術を用いることでアサリの餌として優良なプランクトンを安価で効率的に生産できる手法を発見し、これを浜名湖のアサリ資源回復に応用すべく、社内ベンチャーを立ち上げました。本社内ベンチャーでは、これまで、生産したプランクトン及び独自の飼育法によりアサリの幼生を高確率で稚貝に成長させることに成功しており、現在は、浜名湖にて人工稚貝の保護育成などの検証を行っております^[2]。今後も、飼育方法や設備機能の改良等を行うことでアサリの安定生産を実現し、漁業従事者における漁獲量の増加や海洋資源の保全に貢献してまいります。



▲光技術を用いてプランクトンを生産している様子（左）と人工飼育したアサリ（右）

[2] 本取り組みは、浜名漁業協同組合との共同研究、浜松市「未来を拓く農林漁業育成事業費補助金」、静岡県「令和5年度 浜名湖アサリ種苗放流調査業務委託」の一部として行っております。

株式事項 / 株価の推移

2023年9月30日現在

株式事項

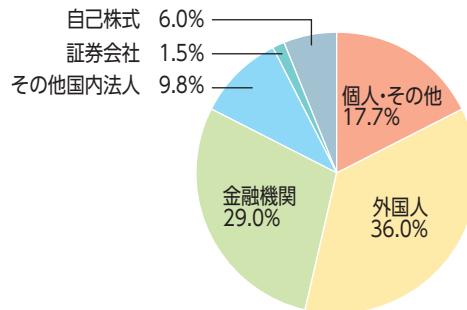
■発行済株式総数 165,065,948株

■株主数 26,204名

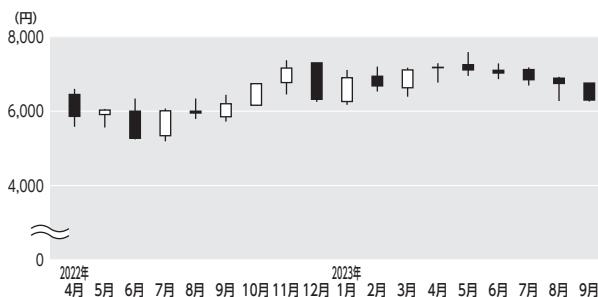
大株主	株式数
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	27,241,000株
トヨタ自動車株式会社	8,400,000株
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	8,225,700株
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	4,281,988株
浜松ホトニクス従業員持株会	4,116,492株
ジェーピーモルガンチェースバンク 385632	3,384,958株
野村信託銀行株式会社（投信口）	3,099,800株
ステートストリートバンクウェストクライアント トリーティ 505234	2,641,787株
ジェーピーモルガンチェースバンク 380072	2,438,100株
GOVERNMENT OF NORWAY	1,871,498株

(注) 上記のほか、自己株式9,945,833株があります。

所有者別株式分布状況



株価の推移



会社情報

会社情報、事業内容、国内及び海外事業所などをご覧ください。



<https://www.hamamatsu.com/jp/ja/our-company.html>

浜松ホトニクスについて

光の研究及びその成果をいかした製品開発を通じて、未知未踏に挑む当社の姿勢をご紹介します。



<https://www.hamamatsu.com/jp/ja/why-hamamatsu.html>

株式事務などのよくあるご質問

株式に関する情報や多く寄せられるご質問とその回答をご覧ください。



<https://www.hamamatsu.com/jp/ja/investor-relations/faqs.html>

